

# 福竜丸だより



都立・第五福竜丸展示館 ニュース

発行 (財) 第五福竜丸平和協会  
連絡所 〒136-0081 東京都江東区 夢の島3-2  
都立第五福竜丸展示館内  
電話 03-3521-8494

## 核抑止の犠牲

アメリカ物理学会が出しているフィジックス・トゥデイという雑誌の昨年の十二月号では、「物理学と安全保障」という特集を組んでいる。活字を読むのが面倒になってきてまだ全部は読んでいないのだが、例えばジンロックスという天文学者の「科学に基づいた貯蔵の管理」という論文を読むと、彼はアメリカの核抑止論には全面的に賛成し、そのためには現在貯蔵中の核兵器の材料であるプルトニウム等の物質が長年にわたって腐食しないようにする必要があり、基礎科学の研究が重要であるという立場をとっている。こういう考え方をする科学者は、アメリカには多いのではないかという気がしてくる。

ロシアや中国は、ブッシュ政権が強力に推進しようとしているNMD(本土ミサイル防衛)という考え方は、核抑止のバランスを崩すもので、ABM(弾道弾迎撃ミサイル)制限協定に違反すると言って反対しているが、私はこの言い方にも多少異論がある。核防止力という考え方が核兵器の真の廃絶を妨げていると思うからである。

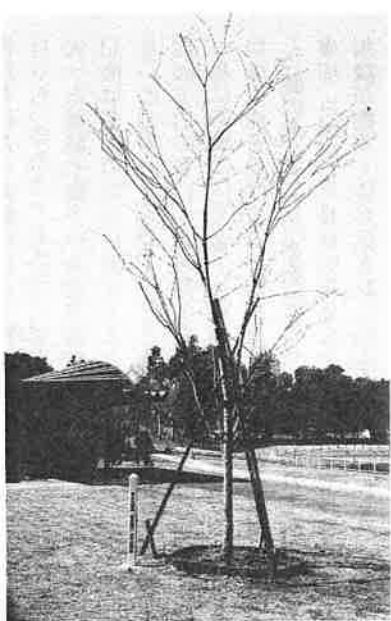
## 服部 学

核抑止という考え方は、あくまでも核兵器がものすごい威力を持っており、その核戦力に脅された相手は手も足も出せなくなるという考え方に基いている。つまり核抑止というよりは核威嚇なのである。核爆発は行われなくとも、威嚇兵器として核兵器は常時使われているのだということにもなる。これはベトナム戦争時代に田中慎次郎先生が書かれたのを少しもじったものである。

日本政府の「核の傘」に頼るという政策も核抑止論に基づいている。少なくとも国連の舞台では日本政府は核廃絶には殆ど貢献していない。それよりも「新アジア連合」の活躍が目立つ。新アジア連合とは聞きなれない言葉だが、一九九八年六月、アイルランド、スウェーデン、スロベニア、ブラジル、メキシコ、南アフリカ、エジプト、ニュージーランドの八カ国が「核兵器のない世界へー新しいアジアの必要性」という声明を発表して以来のことである。この内スロベニアは後に撤退したが、残りの国々は今も力強い核廃絶への動きを続けている。

## お花見平和のつどい・2001

4月7日11時30分より  
第五福竜丸展示館前庭  
八重紅大島桜の下で



八重紅大島桜とエンジン

昨年、東京都地域婦人団体連盟によって第五福竜丸展示館前庭に植樹された「八重紅大島桜」の花の下で、「お花見平和のつどい・2001」が、開かれることになりました。催しを呼びかけるのは、「第五福竜丸から平和を発信する連絡会」、「第五福竜丸エンジンを東京・夢の島へ」都民運動の事務局団体によって昨年十一月に発足した会です。日時は四月七日(土)午前十一時三十分から午後三時、「八重紅大島桜」と「エンジン」を囲むように花見の場所が設けられる予定です。また、参加団体による「平和

を語るコーナー」や「折り紙教室」など、いくつもの「コーナー」がしつらえられ、家族連れで楽しめる趣向が準備されています。花には団子、おでんや甘酒などの出店も用意される予定です。

昨年の十二月に発足した「第五福竜丸から平和を発信する連絡会」はゆるやかな連絡組織として、当日日本山妙法寺の「2001年3・1ピキニデー平和祈念行脚」は、二月十三日午前、第五福竜丸展示館前で出発集会を開きました。

日本山妙法寺の「2001年3・1ピキニデー平和祈念行脚」は、二月十三日午前、第五福竜丸展示館前で出発集会を開きました。日本山妙法寺僧侶、信者のみなさんなど三十人を越える人たちが参加しました。集会では日本山妙法寺の木津博充上人のあいさつ、協賛の団体や信者さん

面、毎年一回「お花見平和のつどい」を開催すること、第五福竜丸平和協会主催の行事に参加することなどを申し合わせており、構成団体は、原水爆禁止東京協議会、主婦連合会、東京都原爆被害者団体協議会、東京都生活共同組合連合会、東京都消費者団体連絡会、東京都地域婦人団体連盟、日本青年団協議会、第五福竜丸平和協会も参加しています。連絡担当は東京地婦連となっています。

「お花見平和のつどい」を受け、第五福竜丸の船体を一周、久保山愛吉寺に詣で午前十時すぎ出発しました。「平和祈念行脚」は三月一日焼津の久保山愛吉寺前に参詣の日程で行脚には、日韓連帯行脚として韓国二人の僧が「世界平和・祖国統一」旗をもって参加していました。

平和祈念行脚のスローガンには、「戦争なくせ、核兵器も原発も基地もなくせ、地球環境破壊を止めよう」「不殺生・非暴力の祈りと行動で憲法9条を守り、沖縄の新たな米軍基地建設に反対しよう」などが掲げられています。

## 近刊紹介

杉末廣著

『はばたけ！紀伊半島から―第五福竜丸エンジン引き揚げ』

杉末廣さん著「はばたけ！紀伊半島から―第五福竜丸エンジン引き揚げ」が発刊されました。

本の構成は、平和への第一歩―エンジン引き揚げに向けて―いよいよ引き揚げ―引き揚げ後の動き―核廃絶を訴え巡回―エンジン出発式―焼津で―エンジン夢の島へ―船体との再会―などその経過を追って、杉さんの文章と新聞報道などの記事と関連させて、全体がよくわかるようになっていきます。新聞の引き揚げ報道記事のスクラップは、エンジン引き揚げとエンジン保存に対する世論の関心。強さを示すものともなっています。巻末にはエンジンの年譜も記録されています。

体載はB5判一五八頁 定価一八〇〇円 発行は海南タイムズ社II和歌山県海南市大野中一〇五六・二二六  
福竜丸平和協会でも扱っています。

### ビキニ核実験被害は半世紀を越えていまでも続く マーシャル・ロンゲラップ島訪問を終えて

問 問 一 元

去る一月七日より十九日まで、日本原水協のマーシャル・ロンゲラップ島民との連帯・交流代表团に参加しました。私にとっては二度目の訪問でしたが、ロンゲラップ島民の被害が、社会経済、生活文

化そして保険医療などのあらゆる面で今なお続いているということをおぼやかしませんでした。

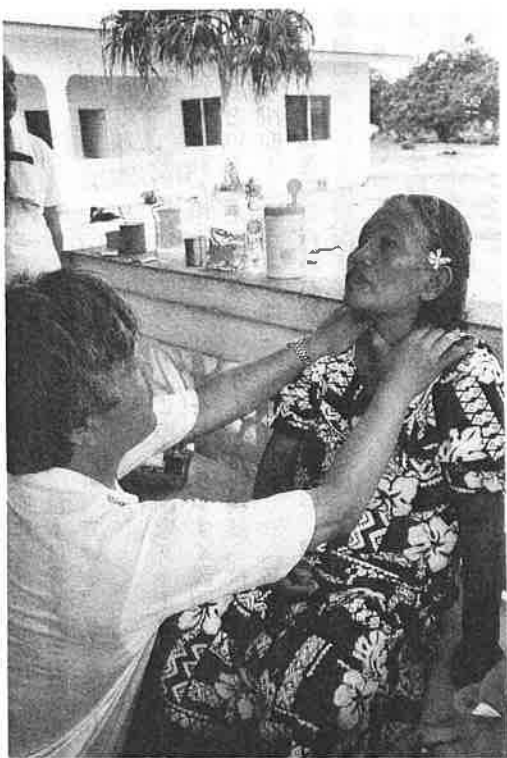
まず島民のいないロンゲラップ本島の現状ですが、米軍からの補償金四千五百万ドルを使って、中心部のわずかに三十八エーカー(約〇・一五平方キロメートル)分の汚染除去工事が数年前から行われています。すでに教会はきれいに再建され、未舗装ながら飛行場もあるという様子には驚きました。ただし汚染除去といっても表土をシヨベルカーで削るだけで、その表土は飛行場の拡張のために使い、削った跡には海底を爆破して得られたサンゴ礁の砂で覆うだけです。この方法はロンゲラップが初めてではなく、数十年前にビキニ環礁で一億ドルの巨費を投じて施行されていますが、今もってビキニには誰も定住していません。

近い将来島民が帰島し再定住した場合、γ線による体外被ばくよりも、島で採れるココナツやヤシガニなどの食料に含まれる放射性物質による体内被ばくが問題です。これに関しては七年前に米国の専門調査機関による報告書が出されていますが、結論的には安全だとされています。安全宣言による帰島によって深刻な健康被害を受けた島民は、十六年前に島を去ってからのいくらも経っていないのに安全だという彼らの調査は信頼できないといえます。



美しい島ロンゲラップ

一九五四年三月一日のブラボー水爆で降った死の灰は、ロンゲラップ環礁をはじめマーシャル諸島の



甲状腺を調べる問問医師

世紀を経た今高齢化による障害が目立ち、また今でも病気で家族を失った経験や数多い流産や死産の記憶は島民のなかに消えることのない心の傷として残っています。病院は人口の多いバイ島とマジュ口島にあるだけで、多くの島民は適切な医療を受けることができません。膝の痛みなどの運動器疾患、皮膚病、白内障、耳鼻科的疾患などの相談が数多く持ち込まれたのも今回の特徴です。高血圧や糖尿病に対する健康管理も相変わらず不十分であり、島民あがての保健予防活動、健康づくり運動にまで発展させ

ること、ここに私たちの支援の重点が置かれるべきだと強く感じました。さらに生産活動の場であった豊かな故郷の島を捨てたことで労働の機会や喜びを奪われ、自然の食料を得ることができず、栄養上偏った輸入食料に依存せざるを得ない島民の生活実態があります。そういう中で長老たちにかわり首長や議員として活躍する若い政治家の台頭は最近の大きな変化であり、彼らの指導が始まりつつある野菜農園やハンドクラフトの生産など生活再建への取り組みは未来への希望を感じさせるものでした。

今マーシャル諸島の一部は米軍のNMDミサイル実験基地として占有され、ガム基地と並ぶ太平洋核戦略の一大拠点となっています。海の資源豊かなマーシャル諸島民の民族的、文化的、経済的自立を保障し、本島の平和と安全を環太平洋諸国民の共同と連帯でつくること、これが新世紀の課題ではないかと考えます。

(さきま・はじめII医師・全日本医師連被爆問題委員長)

ナエン島での土壌採集



#### 二〇〇一年一月の来館者

第五福竜丸展示館には、年初からおおぜいの来館者がありました。二〇〇一年の一月の来館者は、八八五〇人、団体数は四三、うち小学校三〇校、二四〇八人。中学校三校、三〇四人。その他一〇団体五二八人となっています。

#### 来館者ノートから

二〇〇一年一月〜二月

##### ◇平和な世紀に

ビキニでの水爆実験については、たびたび耳にしていました。が、第五福竜丸の展示館に来てはじめていろいろなことを知りました。新世紀が戦争のない平和な世紀となりますよう祈らずにはおられません。

##### ◇広島・長崎・ビキニ

私は被爆二世です。両親ともに広島で被爆しています。広島・長崎・第五福竜丸もう二度とこのようなことはあってはならないと思います。

##### ◇船の名は忘れぬ

第五福竜丸の船名は忘れません。夢の島公園で大切に展示され

ていたのですね。ありがとうございます。

##### ◇ノートに書かれた言葉

このノートに書かれた言葉には重いものの中にはあり、二一世紀のはじめのページをえがいてゆく私たちにずしりとこのっかりました。中学生の方々が本当に真剣に平和について考えられることを知り、真の平和は何なのか、人が生きるということは何かを考えたいと思っています。

##### ◇教科書にのっていない願い

教科書にのっていないこの船の願いが伝わりました。

##### ◇美しいものをこわすな

船に乗っていた人たちの日用品、マーシャル諸島の人たちの瞳がすべてを私に語ってくれた。なんでぶちこわすのだろう、美しいものを。

##### ◇遠いことではなく

今のぼく達にとって原水爆は、どうしても「遠い海の向こう」というイメージがありました。今日見学させていただき、そのイメージを変え、原水爆のおそろしさを感じました。これからの学習に活かしてゆこうと思います。